

(使用を開始してからの安定性)
機器上 : 4 週間安定

(2) **エクルーシス試薬 プロセル(別売)**

未開封時: 15~25℃で使用期限まで安定
機器上:

- 1) **エクルーシス試薬 プロセルの場合**
キャップを開けた状態で 3 日間、
キャップを閉めた状態で 4 週間安定
- 2) **エクルーシス試薬 プロセル Mの場合**
5 日間安定

3. **別途必要な器具・器材・試薬**

- **・コバス e 411、コバス 6000(免疫処理用 e 601 モジュール)、
コバス 8000(免疫処理用 e 602 モジュール)
- ・エクルーシス ACTH キャリブレータ
 - ・エクルーシス プレチコントロール MM
 - ・エクルーシス クリーンセル
 - ・エクルーシス シスウォッシュ
 - ・エクルーシス 2010 分注チップ
 - ・エクルーシス 2010 アッセイカップ
 - ・エクルーシス 2010 クリーンライナー
 - ・エクルーシス クリーンセル M
 - ・エクルーシス プレクリーン M
 - ・エクルーシス ブローブウォッシュ M
 - ・エクルーシス アッセイカップ/チップ M
 - ・エクルーシス クリーンライナー M
 - ・エクルーシス PC/CC カップ M

使用方法は、各製品の添付文書及び取扱説明書をご参照ください。

また、機種により使用する製品が異なりますので、ご不明な点などがございましたら弊社までお問い合わせください。

4. **操作方法**

(1) **測定準備**

1) **エクルーシス試薬 ACTH**

a. **機器への試薬パックの設置**

機器の試薬ディスクの空いているポジションに試薬パックをセットします。

使用する前日に機器にセットする事をお勧めします。

試薬は泡立てないでください。

キャップの開閉は、機器が自動的に行います。

使用後は、そのまま機器の試薬ディスク内に保存してください。

b. **機器への測定試料の設置**

所定の位置に検体をセットします。

機器への設置方法の詳細は、機器の取扱説明書を参照してください。

c. **キャリブレーション**

本試薬に使用するマスターキャリブレーションデータは試薬パック、並びにキャリブレータの 2D バーコード、バーコードカード、バーコードシート及び電子配信されるキャリブレーション情報に記録されています。マスターキャリブレーションデータを各機器の状態に適合させるために、キャリブレーションを行います。

このキャリブレーションには、エクルーシス ACTH キャリブレータ(別売)を使用します。

新しいロットの試薬を使用する場合、機器に設置してから 24 時間以内の新しい試薬パックを用いて、必ずキャリブレーションを行ってください。このキャリブレーションデータが、同一ロットの試薬パックに使用されるキャリブレーション(L-Cal)として、機器に記録されます。

推奨するキャリブレーションの測定・更新頻度は、以下のとおりです。しかしながら、精度管理などで必要が生じた場合は、必ずキャリブレーションを行ってください。

- ・1 つの試薬パックを 1 週間以内で使いきる場合:

上記 L-Cal は、1 ヶ月(28 日)間有効です。この間キャリブレーションは不要です。ただし、同一ロット内でも、1 ヶ月(28 日)に 1 度 L-Cal を更新してください。

- ・1 つの試薬パックを 7 日間以上使用する場合:
7 日間に 1 度その試薬パックでキャリブレーションしてください。その際のキャリブレーションデータは、その試薬パックにのみ有効なキャリブレーション(R-Cal)として、機器に記録されます。

エクルーシス ACTH キャリブレータ(別売)の包装、使用方法、安定性などは、キャリブレータの添付文書をご参照ください。

キャリブレーション実施後は、必ずコントロール試料を測定し、精度管理を行ってから検体測定を行ってください。

2) **エクルーシス試薬 プロセル(別売)**

機器への設置方法の詳細は、機器の取扱説明書を参照してください。

a. **エクルーシス試薬 プロセル/プロセル M 共通**

測定する 1 時間以上前に、機器に設置します(泡立てないでください)。

b. **エクルーシス試薬 プロセルをご使用の場合**

以下の点にご留意ください。

- ・測定前にキャップを開けます。
- ・測定後、あるいは 3 時間以上使用しない場合は、キャップを閉めます。

(2) **測定(サンドイッチ法)**

- 1) 第 1 反応: 検体、試液 1(ビオチン化抗 ACTH 抗体)及び試液 2(Ru(bpy)₃ 標識抗 ACTH 抗体)を加え反応させます。
- 2) 第 2 反応: MP 液(SA 磁性 MP)を加え反応させます。
- 3) 反応混合液を測定セルに吸引し、磁力により SA 磁性 MP を電極に引き付けます。
- 4) プロセル(トリプロピルアミン)を吸引し、未反応物を除去します(B/F 分離)。
SA 磁性 MP に結合している Ru(bpy)₃ 標識抗 ACTH 抗体の Ru(bpy)₃ は、電極への荷電による酸化と、トリプロピルアミンでの還元反応により励起発光を繰り返すので、所定時間での発光強度を光電子増倍管で測定します。
- 5) 同様の操作をしたキャリブレータの発光強度から、検体中の ACTH 濃度を算出します。

例) 操作概略(コバス e 411 の場合)

第1反応

検体(50 μL)、試液 1(60 μL)及び試液 2(60 μL)
を分注

37℃でインキュベーション

第2反応

← MP 液(30 μL)

37℃でインキュベーションを行い、
反応液を測定セルに吸引

← プロセル

B/F 分離

測定(光電子増倍管) 測定時間 18分

5. 精度管理

精度管理には、エクルーシス プレチコントロール MM(別売)をご使用ください。

精度管理は少なくとも24時間に1回は実施してください。

コントロールの測定値が許容範囲内にあることを確認してから検体測定を行ってください。

【測定結果の判定法】

1. 測定結果の判定及び参考基準範囲

参考基準範囲:7.2~63.3 pg/mL²⁾

健康成人 354 例における5~95パーセンタイル値(午前7~10時の間の採血によって得られた血漿検体を使用)

基準範囲は、測定試料、測定条件、基準個体などにより異なる場合がありますので、各施設で臨床医と相談の上、設定してください。

2. 検体の希釈

測定範囲を広く設定しているため、希釈は不要です。

【性能】

1. 性能

【用法・用量(操作方法)】の記載に従い、感度・正確性・同時再現性の各試験を行った場合、下記の規格値に適合します。

(1) 感度試験

- 1) ACTH 濃度 5~50 pg/mL の標準液を試料として操作した場合の発光強度は 500~6,000 Counts の範囲内です。
- 2) ACTH 濃度 75~175 pg/mL の標準液を試料として操作した場合の発光強度は 7,000~50,000 Counts の範囲内です。

(2) 正確性試験

既知濃度の管理用試料を測定するとき、既知濃度の±25%の範囲内にあります。

(3) 同時再現性試験

同一試料を3回同時に測定するとき、測定値の CV は 10% 以下です。

(4) 測定範囲

*1.5~2,000 pg/mL

(5) 測定下限値

**LoB : 1.00 pg/mL

LoD : 1.5 pg/mL

LoQ : 3.0 pg/mL

**CLSI ガイドライン EP17-A2³⁾に従って、ブランク上限(LoB)、検出限界(LoD)、定量限界(LoQ)を算出しました。

2. 相関性試験成績

- (1) 本品と既存製品(他社 RIA 法)との相関性を検討したところ、238 例の検体において、良好な相関性が得られました²⁾。
相関係数 $r=0.9$

回帰式 $y=0.9x - 0.4$

y:本品 x:既存製品

- (2) 本品と既存製品(他社 CLEIA 法)との相関性を検討したところ、180 例の検体において、良好な相関性が得られました²⁾。

相関係数 $r=1.0$

回帰式 $y=1.1x + 1.2$

y:本品 x:既存製品

3. 較正用基準物質

自社標準品

【使用上又は取扱い上の注意】

1. 取扱い上(危険防止)の注意

- (1) 検体及び本品の取扱いには、使い捨て手袋、実験着などの保護衣及び保護用眼鏡を着用するなど、人体に直接触れないように注意してください。また、測定終了後はよく手を洗ってください。
- (2) 試薬が誤って目や口に入った場合には、直ちに水でじゅうぶんに洗い流すなどの応急処置を行い、必要があれば医師の手当てなどを受けてください。
- (3) 試薬が誤って皮膚及び粘膜に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流してください。
- (4) 試薬をこぼした場合には水で希釈してから拭き取ってください。
- (5) 検体をこぼした場合は、次亜塩素酸剤(有効塩素濃度 1,000 ppm、0.1%)などの消毒液を使用してじゅうぶんに拭き取ってください。なお、拭き取る際には、ゴム製の手袋などにより手を保護してください。
- (6) 検体及び本品を取り扱う場所では飲食又は喫煙をしないでください。
- (7) 検体は HIV、HBV、HCV などのウイルスによる感染の危険性があるものとして取り扱い、検体又は検査に使用した器具類は高圧蒸気滅菌器を用いて 121℃で 20 分以上加熱滅菌処理をするか、次亜塩素酸剤(有効塩素濃度 1,000 ppm、0.1%)に 1 時間以上浸すなどにより消毒してください。これらの作業中は、じゅうぶんに換気を行ってください。
- (8) 本品にはアレルギー反応を起こすおそれがある 2-メチル イソチアゾール-3(2H)-オン・塩酸塩が含まれていますので、取扱いにはじゅうぶんに注意してください。

2. 使用上の注意

- ** (1) 本品の検査の有効性は、本品で使用されることを意図した弊社の試薬、消耗品及び別売品にて検証されています。また、その容器・付属品などはほかの目的に転用しないでください。
- (2) 試薬は必ず貯蔵方法に従って保存し、凍結させるなど指定の条件以外で保存したものや使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
 - (3) ロットの異なる試薬又は残った試薬を混ぜ合わせて使用しないでください。
 - (4) 試薬パックは使用する前に、恒温槽(Water bath など)に浸けたりしないでください。
 - (5) バーコードをぬらしたり、ペンで記入するなどして汚したりしないでください。
 - (6) 測定の前はすべての試薬と測定試料中の気泡の有無を確認してください。気泡がある場合は除いてください。
 - (7) すべての試薬は保存又は反応中に強い光を当てないでください。
 - (8) すべての試薬は開封又は分注時に微生物の汚染を避けてください。
 - (9) 測定系及び洗浄液の調製には必ず精製水を使用し、水道水は用いないでください。
 - (10) 検体は使用前に 20~25℃に戻し、よく混和してください。ただし、激しく振り混ぜたり、泡立てたりしないでください。
- ** (11) 本品を保存及び使用する際は、キャップの裏に試薬を付けないように、垂直の状態で保存及び使用してください。

- (12) 構成試薬のうちプロセルは、個別に包装されていますので、組み合わせて使用してください。

3. 廃棄上の注意

- (1) 測定により生じた廃液については、検体などと同様に滅菌又は消毒の処理を行ってください。また、これらを廃棄する場合には、各都道府県によって定められた規定に従ってください。
- (2) 使用後の容器を廃棄する場合には、廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物又は産業廃棄物など区別して処理してください。
- (3) 廃棄する際は、水質汚濁防止法等の規制に留意して処理してください。
- (4) 検体及び試薬をこぼした場合は、次亜塩素酸剤(有効塩素濃度 1,000 ppm、0.1%)などの消毒液を使用してじゅうぶんに拭き取ってください。なお、拭き取る際には、ゴム製の手袋などにより手を保護してください。
- (5) プロセル(別売)を原液のまま廃棄する場合は強アルカリ溶液(エクレーシス クリーンセル)と混合しないでください。

4. その他の注意

本品による測定値は既存製品と高い相関性を示しますが、系統的な誤差を生じる場合がありますので、必要に応じて相関性について検討されることをお勧めします。

【貯蔵方法・有効期間】

1. 貯蔵方法

- (1) **エクレーシス試薬 ACTH**
2～8℃で保存してください(凍結は避けてください)。
製品を倒さないでください。
- (2) **エクレーシス試薬 プロセル(別売)**
15～25℃で保存してください(凍結は避けてください)。
製品を倒さないでください。

2. 有効期間

- (1) **エクレーシス試薬 ACTH**
12 ヶ月
使用期限(Exp.)は外箱に記載してあります。
- (2) **エクレーシス試薬 プロセル(別売)**
24 ヶ月
使用期限(Exp.)は外箱に記載してあります。

【包装単位】

エクレーシス試薬 ACTH 100 テスト

MP 液(M) 1×6.5 mL
試液 1 (R1) 1×8 mL
試液 2 (R2) 1×8 mL

エクレーシス試薬 ACTH 5×100 テスト

MP 液(M) 1×6.5 mL×5
試液 1 (R1) 1×8 mL×5
試液 2 (R2) 1×8 mL×5

エクレーシス試薬 プロセル(別売)※

プロセル 6×380 mL

エクレーシス試薬 プロセル M(別売)※

プロセル 1×2L 又は 2×2L

※ 使用する機器に合わせてエクレーシス試薬 プロセル又はエクレーシス試薬 プロセル Mをご使用ください。ご不明な点などがございましたら弊社までお問い合わせください。

【主要文献】

- 1) Gary F. Blackburn. et al. Electrochemiluminescence Detection for Development of Immunoassays and DNA Probe Assays for Clinical Diagnostics. Clin.Chem. 1991, 37(9), p.1534～1539.
- 2) 自社データ
- 3) Clinical and Laboratory Standards Institute. Evaluation of Detection Capability for Clinical Laboratory Measurement Procedures. CLSI Document EP17-A2. Wayne, PA: CLSI; 2012.

【問い合わせ先】

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
カスタマーソリューションセンター
〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70
フリーダイヤル: 0120-600-152

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所等】

ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70
フリーダイヤル: 0120-600-152

コバス、エクレーシス及び ELECSYS は Roche の登録商標です。
その他の全ての製品名及び商標は、各所有者に帰属します。

